



田中

たなか さやか

品川・生活者ネットワーク 品川区議会議員

「市民自治」のまちづくりを前へ! ●品川・生活者ネットワーク 田中さやかの活動を紹介します。

人口減少社会が目前に迫っています。品川区でも、少子高齢化に伴う公共施設の再編整備や減災の都市整備などが直面する課題となっています。これからは、行政だけが担うのではない市民が協働するまちづくりへの転換が急務です。でも、「こんな品川に暮らしたい」思いは一緒でも、その描き方は人それぞれ。

だからこそ多くの市民が参加し、意見や利害が対立する人と「合意する力」を発揮しあいながら、理念や方向性を市民自らが決め、まちづくりを行なっていく「市民自治」が必要となるのです。行政は、区の執行機関として計画的で効果的な行財政運営を推進していかねばなりませんし、議会は、意思決定機関として広く市民の声を聴きながら行政監視、政策形成、立法機能を果たし、まちづくりの一翼を担っていくのです。

生活者ネットワークは、市民自治のまちづくりを進めるために、自治基本条例や市民参加条例を整えるとともに、無作為抽出・ワールドカフェ形式による「住民討論会」の設置を提案します。

田中さやかプロフィール

■1982 目黒区生まれ。区立第九中学校、都立南高校卒業（現：美原高校） ■99～高3 在学中からモデル事務所に所属、卒業後モデル・タレントとして活動 ■2011～3.11 原発事故後、公給食の放射能測定のをしきみを求め活動。原発都民投票直接請求運動に参加 ■13～ 特定秘密保護法強行採決、集団的自衛権行使容認の閣議決定に抗し署名活動。品川・生活者ネットワーク政策委員 ■15 品川区議会議員初当選 ■18 会派幹事長。区民委員会、オリンピック・パラリンピック推進特別委員会、消防団運営委員会、ICT会議に所属。東京・生活者ネットワーク「ジェンダー問題プロジェクト」メンバー、「安保関連法に反対するママの会@しながわ」メンバー
 ●趣味：子どもたちの自然な姿を写真に撮ること、読書 ●家族：夫・娘（小学生）・息子（保育園児）、小山台在住

<http://tanakasayaka.seikatsusha.me/>



●共に活動しています / 左から、品川・生活者ネットワークの井上八重子、区議の吉田ゆみこと田中さやか

三浦まり

上智大学教授



生活者ネットワークは長年にわたって地域に根ざした市民参加を実践してきました。私たちの社会の多様な声を議会に届けるには、地域に基盤のある信頼のおける人を送り出す必要があります。品川区がすべての人の人権を尊重し、一人ひとりに寄り添うようになるために、生活者ネットワークの田中さやかさんを応援します。

田中さやかさんを応援します

山口二郎

法政大学教授

森田明美

東洋大学教授 / 子どもの権利条例東京市民フォーラム事務局長

中川李枝子

児童文学作家

堀 利和

視覚障害者 元参議院議員

福嶋浩彦

元我孫子市長

鎌仲ひとみ

映像作家

長尾詩子

安保関連法に反対するママの会事務局 / 弁護士

土谷雅美

生活クラブ生協東京理事長

山内れい子

東京・生活者ネットワーク都議会議員

北野富江

元区議会議員

三村りつ子

元区議会議員

市川和子

元区議会議員

井上八重子

品川・生活者ネットワーク代表 / 前区議会議員

生活者ネットワーク3つのルール

議員報酬は市民の政治活動資金に

議員は交代制
(最長3期ローテーション)

選挙はカンパとボランティアで

「羽田低空飛行」は白紙撤回！
 ●STOP！騒音・落下物・大気汚染・重大事故／品川の空と暮らしを守る

食の安全をまもる
 ●学校給食と学校農園の活用で食農教育を進める
 ●農薬・添加物・遺伝子組み換えの全食品表示を徹底する

子どもの育ちを応援する
 ●虐待をなくす
 ●保育の質の向上をはかる
 ●障がいがあってもなくても共に学びあう学校をつくる
 ●多様な学びを保障する／学び直せるリカレント教育を進める

●生命尊重の視点からの性教育を進める
 ●教育と福祉の連携で子どもと子ども家庭を応援する

介護・医療・福祉の連携で安心の地域をつくる

●高齢者や障がい者の在宅生活を支える相談機能をつくる
 ●緩和ケアや看取りも含む在宅医療を推進する
 ●空き家を転用したグループホームやみんなが集う居場所を増やす
 ●安心の住まいを確保する
 ●家族介護者を支える「ケアラー支援条例」をつくる

障がいの有無にかかわらず共に暮らすまちへ

●「障がい者差別解消条例」を制定する
 ●移動の確保、居場所の創出で高齢者・障がい者の社会参加を保障する



2019年／品川・生活者ネットワーク 田中さやか の提案

みんなが幸せになる ジェンダー平等社会へ

●女性の人権を守る！被害の救済・支援のしくみを整える
 ●性的指向・性自認を尊重し多様性を認めあう
 ●男女平等参画を進める

防災・減災のまちづくりは福祉と環境優先で！

●地域防災は、福祉の視点と女性の参画で！
 ●液体ミルクやアレルギー対応食を備蓄する

原発ゼロ！持続可能な環境を次世代にわたす

●給食の放射能を測定・公開し放射能から子どもを守る
 ●雨水の地下浸透・循環利用を進める
 ●省エネ・創エネ！「地域エネルギー計画」をつくる

大事なことは市民が決める

●公共施設の再編整備は市民参加で
 ●「公文書管理条例」を整備し情報公開を徹底！
 ●自治の力を活かす「自治基本条例」をつくる／議会への市民参加を広げる

憲法をまもり活かす

●平和への思い・戦争体験を継承する
 ●オスプレイ配備NO！
 ●基地問題に取り組み
 ●人権を価値基盤に多文化共生社会を築く



子どもの育ちを応援する「子どもの権利条例」をつくる！



「安部閣連法に反対するママの会@しながわのメンバーとして街頭演説集会に参加。2019年1月13日」

実現しました！

- 保育園・学校給食食材の放射能測定
- 地域振興基金の創設～基金活用で区民活動助成制度を創設
- 避難所運営会議への女性登用を防災計画に掲載
- 本会議場に車椅子利用の傍聴者に対応する昇降機を設置／乳幼児同伴傍聴者の託児施設
- 税金負担の議員永年表彰記念品を廃止
- 条例・品川区要綱全項を区公式HPに公開
- 「議員の議案賛否」を区議会HP上に公開

Information

田中さやか街かど集會

■4月6日(土)16時～ 大井町イトーヨーカドー前

第2子出産後すぐからの1期4年間は、我が子の成長と共にあった月日でした。産前から保育所探しに翻弄され、妊娠期を楽しむことができないでいる保護者の姿から、待機児童対策の重要さや、産前産後の母体に対する支援が抜け落ちている現状などを当事者の立場から指摘。政策実現につなげる取り組みを進めてきました。

高層ビル化の進む品川区。住民生活が追い遣られる中、子どもの暮らし、遊びや学び環境も劣化を余儀なくされています。子ども家庭の社会的孤立や援助者不在の中で引き起こされる子ども虐待。子どもの成長を見守る保育所で起きている事故や、学齢期の子どもが一日の大半を過ごす学校で止まらないいじめ問題。区内の子どもの自死に直面し、耳を澄まして子どもの声を聴くこと、子どもの育ち支援の重要さを痛感しています。

今年、国連「子どもの権利条約」採択30年、日本が批准して25年の節目の年。今を生きる子どもたちが、その子ども期を充実して過ごし、子ども・若者が大人になることに希望が持てる、そんな品川でありたい！私は、子どもの最善の利益を保障する社会の約束「子どもの権利条例」の制定をめざして全力を尽くします。

品川・生活者ネットワーク 区議会議員

田中さやか

